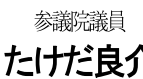




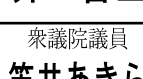
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士
衆議院議員
笠井あきら
禁無断転載
複写配布

コロナ禍のもと 少人数数学級実現こそ

東部小学校の存続署名1570筆が市長に

【砂田市議】 「学校統廃合しないで欲しい」との東部小学校校区の署名1570名分が市長に提出された。どのように受け止め、対応するのか。

【桜井市長】「地域の皆さんの存続を願う気持ちと思う」

9月3日に教育後援会とPTAから東部小学校存続を求める署名が提出された。地域の皆さんの現時点での存続を願う気持ちと受け止めている。国が少人数学級の提言をまとめる来年5月頃まで、小中学校再編計画の策定作業を延期した。

学校統廃合をしない決断を

【砂田市議】 コロナ禍のもと小中学校統廃合の検討延期ではなく、学校統廃合をしない決断を求める。

中学校部活の改革を

【砂田市議】 ある方からの提言だが、部員が少ない部活を少しずつ1つにまとめ、市が運営してはどうか。

①小中学校は統合しないこと。小規模校がよいことは当然のこと。②部活動は子どもたちがたいへん楽しみにしている。できない部活があると、やりたいスポーツがある学校へ入学したりする子がいる。しかし、このために学校統廃合するのは筋違いだ。

部活改革には責任ある指導者の配置とその処遇を明確にすべきだ。

【教育長】国では「学校から地域へ」という検討が

国では将来的には部活動を学校から地域へという検討が進んでいる。令和5年度以降、休日の部活動を、段階的に地域移行を図るとともに、休日の部活動を望まない教師は休日の部活動にかかわる必要が無い環境を構築するとの方向性が示された。他校との合同部活動の推進や大会参加資格の弾力化を含む地方大会のあり方の整備等を行うこととされている。

統廃合で35人以上学級が激増

統廃合すれば、35人以上学級が増えることは2面に掲載した表でもあきらかだ。35人以上学級は、小学校では、石動と東部の統合でゼロだったものが4学級に、蟹谷と津沢でもゼロだったものが8学級になる。中学校でも津沢と蟹谷のそれぞれ2クラスとか1クラスだったものが、いっぺんに4学級に増える。統廃合は少人数学級実現に逆行する。

【教育長】 国が少人数学級の考え方をまとめる来年5月以降、小中学校再編計画の策定作業を再開したい。現段階で統廃合しないと決断するのは適切ではない。

来年度に「部活動のあり方検討委員会」で検討する

恒常的に練習も含めた合同部活動を実施するためには、練習会場への移動手段の確保、指導体制の検討が必要となる。種目毎にその実情に応じた適切な対応策の検討が必要である。このことから令和3年度に関連団体、有識者で「部活動のあり方検討委員会」を立ち上げ、本市の実情に合った仕組みを検討していきたい。

文科省が示した改革方針では休日の部活動は地域部活動へ転換し、その活動は地域人材が担うこと、運営主体は地域団体とされている。地域部活動で休日の指導を希望する教員は兼職兼業の許可を得た上で地域活動に従事することができるとして、仕組を本年度中に整理するとされている。国の方針が大きく変わりつつある中で、総合的に検討していきたい。

平和教育の推進

原爆写真展の学校巡回は？

【砂田市議】 被爆者の声の世界を動かして国連で核兵器禁止条約が採択された。あと6カ国が批准すれば核兵器は悪



の兵器として禁止する条約、使うことも、持つことも違法だが、核兵器を使って脅すことも禁止する条約が成立する。被爆者の皆さんは、戦争被爆国日本が批准することを強く求めている。小矢部市の姉妹都市でもある北海道の沼田町議会が日本政府に批准を求める意見書を採択した。戦後75年も経過し、被爆の実態や被爆者の声を、若い人々に伝えていくことは大変重要である。学校での原爆写真展の巡回はどうなったか。

【教育長】 3学期に開催すると聞いている。

【砂田市議】 特別教室へのエアコン設置について、竹松議員への答弁で令和10年までに補助制度を使って計画的に整備したいとのことだったが、もっと早められないのか。

【教育長】 特別教室136教室の内56教室に大型冷風扇、エアコンがない。補助制度の活用が基本だが、可能な限り早めるように努力したい。

学校を統合すると、35人以上学級が増える傾向にある

小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	35人以上 学級数
石動	児童数	55	55	64	52	66	67	359	0
	学級1	28	28	32	26	33	34		
	学級2	27	27	32	26	33	33		
東部	児童数	11	20	17	18	8	20	94	0
	学級1	11	20	17	18	8	20		
	学級2								
統合校	児童数	66	75	81	70	74	87	453	4
	学級1	33	25	27	35	37	29		
	学級2	33	25	27	35	37	29		
	学級3		25	27			29		

中学校		1年	2年	3年	合計	35人以上 学級数
津沢	生徒数	44	40	38	122	2
	学級1	22	40	38		
	学級2	22				
蟹谷	生徒数	26	37	43	106	1
	学級1	26	37	22		
	学級2			21		
統合校	生徒数	70	77	81	228	4
	学級1	35	39	27		
	学級2	35	38	27		
	学級3			27		

小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	35人以上 学級数
蟹谷	児童数	30	32	32	32	28	31	185	0
	学級1	30	32	32	32	28	31		
	学級2								
津沢	児童数	50	41	38	47	43	39	258	0
	学級1	25	21	19	24	22	20		
	学級2	25	20	19	23	21	19		
統合校	児童数	80	73	70	79	71	70	443	8
	学級1	27	25	35	40	36	35		
	学級2	27	24	35	39	35	35		
	学級3	26	24						

現在の学級定数

小学校1, 2年生は35人学級、他は40人学級

教員数も63名から34名に激減

4小学校を統合した魚津市の実例
2017年度4校を18年度1校に

	教員数
大町小	23
村木小	12
上野方小	12
本江小	26
合計	63



	教員数
よつば小	34